

# 北九州PCB処理事業所

## 第2期施設解体撤去工事 の実施計画について

1

### 2期施設の解体撤去の進め方(予定)

2期施設の解体撤去は、1期施設の解体撤去のように操業を停止してから実施するのではなく、営業物の少なくなる令和5年度から不要設備の解体撤去を進めて行く計画としている(表1参照)。

表1 北九州2期施設解体撤去スケジュール(予定)

| 年度            | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11～ |
|---------------|----|----|----|----|----|----|-----|------|
| 解体設備          |    |    |    |    |    |    |     |      |
| 営業物処理         |    |    |    |    |    |    |     |      |
| 液抜き・洗浄・除去分別作業 |    |    |    |    |    |    |     |      |
| プラント解体撤去      |    |    |    |    |    |    |     |      |
| VTR・プラズマ処理    |    |    |    |    |    |    |     |      |

※ 営業物処理期間 液抜き・洗浄・除去分別作業

解体撤去期間 設備稼働期間

※今後の検討状況によりスケジュールに変更の可能性がある。

2

## 2期施設の解体撤去について

### ○2期施設の解体撤去

作業を行っていく上で必要のなくなった設備から順次除去分別及び解体撤去を進めて行く。

尚、発生した廃棄物については、低濃度PCB廃棄物を無害化処理認定施設へ払出し、高濃度PCB廃棄物をVTR設備とプラズマ溶融設備で処理をしながら進めて行く。

高濃度PCB廃棄物の処理が完了した時点で、VTR設備とプラズマ溶融設備の運転を停止し、解体撤去を行う。

### ○令和5年度の解体設備

既に稼働の停止しているコンデンサーの処理に使用していた「分析用タンク」の解体撤去を9月頃より実施する。

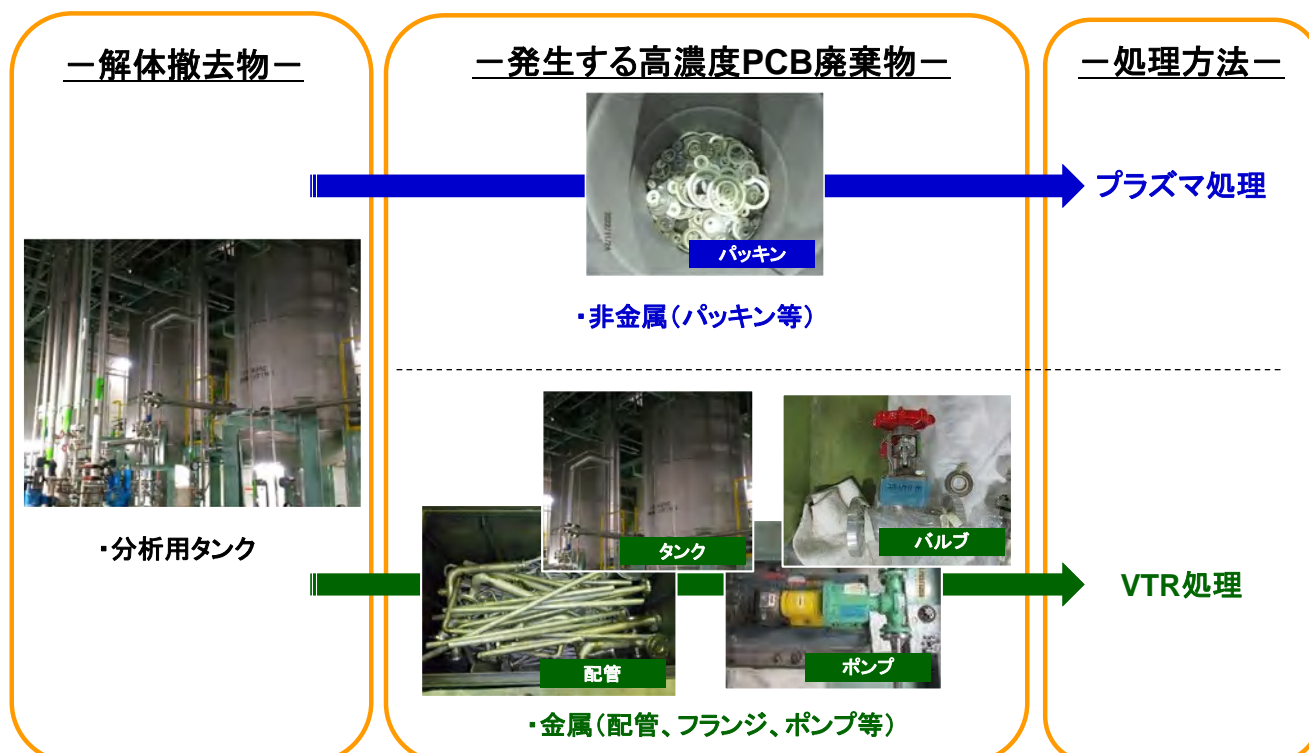
2期施設のタンクの一部は、有姿のまま無害化処理認定施設へ払出せないタンクがあるため、施設内で切断する必要がある。

その他の設備についても、進捗状況により、解体撤去を進めて行く。

3

## 解体撤去で発生する廃棄物

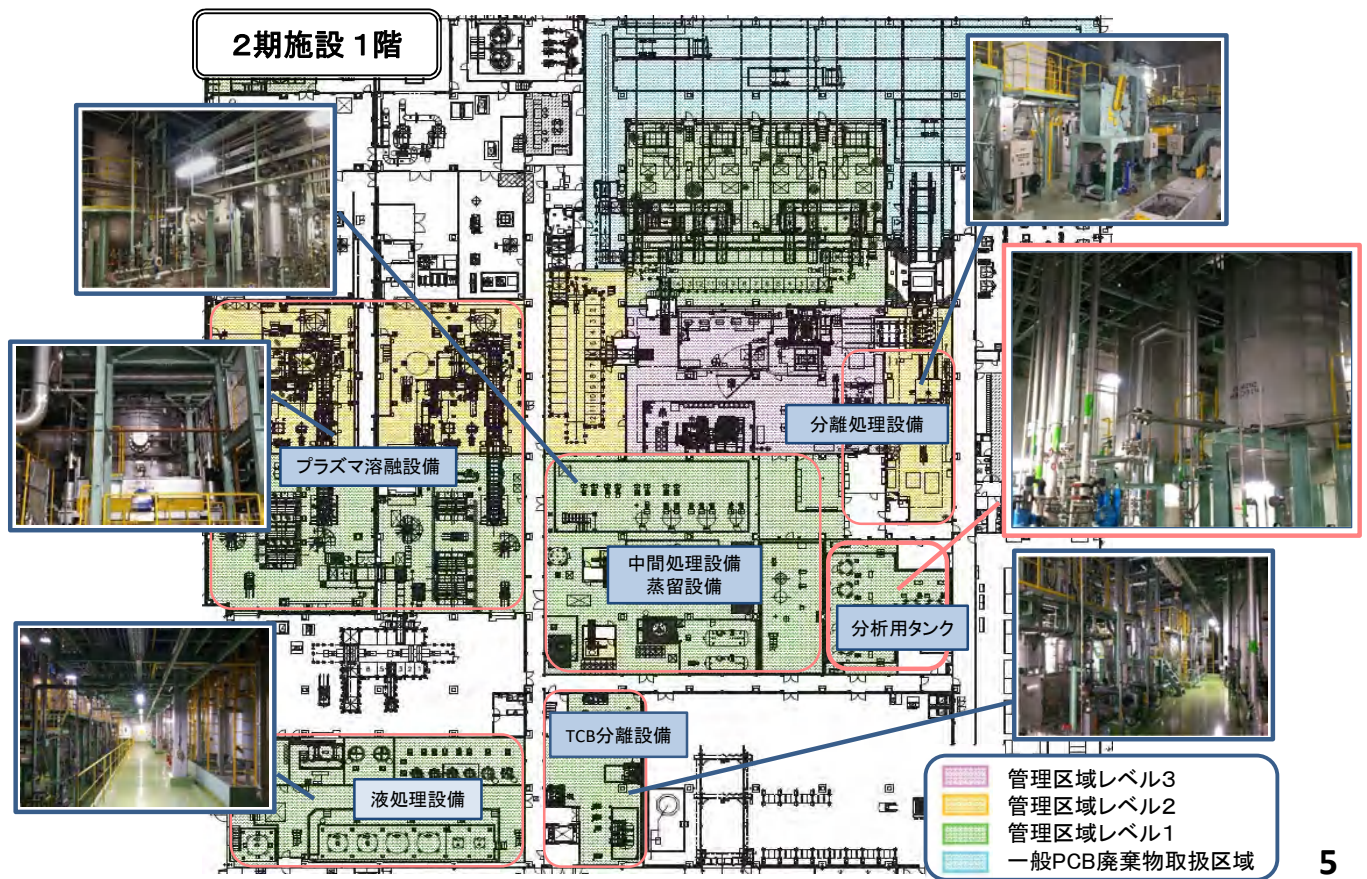
### －分析用タンク解体撤去で発生する高濃度PCB廃棄物の処理方法－



4



## 解体予定設備



## 解体予定設備

